The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	赤木昭三先生　研究業績目録
Author(s)	
Citation	Gallia. 2015, 54, p. 5-9
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/61951
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

赤木昭三先生　研究業績目録

編著書

1．赤木昭三『フランス近代の反宗教思想――リベルタンと地下写本』、岩波書店、1993 年 4 月

2．赤木昭三・支倉崇晴・広田昌義・塩川徹也編『メナール版 パスカル全集』第 1・2 巻、白水社、1993-1994 年

第 1 巻「生涯の軌跡 1（1623-1655）」、1993 年 11 月：「まえがき」、ジルベルト・ペリエ『パスカル氏の生涯』翻訳・解説、『真空論序言断章』解題・翻訳・解説

第 2 巻「生涯の軌跡 2（1655-1662）」、1994 年 6 月：「フェルマからパスカルへの手紙とその返書」解題・翻訳

3．赤木昭三・川端香男里・轡田収・富山太佳夫・中川久定編『ユートピア旅行記叢書』全 15 巻、岩波書店、1996-2000 年

第 1 巻、1996 年 11 月：シラノ・ド・ベルジュラック『別世界または日月両世界の諸国諸帝国』翻訳、解説 1「一七世紀フランスのユートピア旅行記――知性と想像力の綾なす万華鏡」、解説 2「シラノ・ド・ベルジュラックと『別世界』について」

第 4 巻、1997 年 5 月：フォントネル『哲学者の国またはアジャオ人物語』翻訳・解説

4．赤木昭三・赤木富美子『サロンの思想史――デカルトから啓蒙思想へ』、名古屋大学出版会、2003 年 9 月

論文

1．「真空の問題にあらわれたパスカルの自然観」、『ガリア』4 号、大阪大学フランス語フランス文学会、1958 年 12 月

2．*Pascal et le problème du vide*, thèse de doctorat d'université, Université Paris-Sorbonne、1962 年 6 月

3．「パスカルの物理学の原理とその独自性」、『理想』352 号、1962 年 9 月

4．«Les idées fondamentales de la physique pascalienne et leur originalité», *Études de Langue et Littérature Françaises*, n° 4、1964 年 3 月

5．「Théophile de Viau の *Traicté de l'immortalité de l'âme* 論考」、『フランス十七世紀文学』創刊号、フランス十七世紀文学研究会、1966 年 3 月

6．«Pascal et le problème du vide（1）»、『大阪大学教養部 研究集録』XV「外国語・外国文学」3、1967 年 3 月

7．「科学者 libertin の発生？――Pierre Petit の場合（1）」、『フランス十七世紀文学』2 号、1967 年 3 月

8．«Pascal et le problème du vide（2）»、『大阪大学教養部 研究集録』XVI「外国語・外国文学」4、1968 年 3 月

9. 「科学者 libertin の発生？――Pierre Petit の場合（2）」、『フランス十七世紀文学』3 号、1968 年 12 月
10. «Pascal et le problème du vide（3）»、『大阪大学教養部 研究集録』XVII「外国語・外国文学」5、1969 年 3 月
11. 「*De l'Origine des Fables* と *Sur l'histoire*」、『大阪大学教養部 研究集録』XIX「外国語・外国文学」7、1971 年 3 月
12. 「*De l'Origine des Fables* の独創性」、『ガリア』10-11 号、1971 年 8 月
13. 「Cyrano カルテジヤン（1）」、『ガリア』13 号、1974 年 3 月
14. 「シラノとフォントネルと地球の自転」、『基礎フランス語』、三修社、1975 年 2 月
15. 「Cyrano カルテジヤン（2）」、『ガリア』14 号、1975 年 3 月
16. 「パスカルと十八世紀」、徳永恂編『社会の哲学』、学文社、1975 年 9 月
17. 「進歩の思想形成についての一考察――古代派・近代派論争をめぐって」、澤瀉久敬編『フランスの哲学』I、東京大学出版会、1975 年 10 月
18. 「近代合理主義の成立」、『フランス文学講座』第 5 巻「思想」、大修館書店、1977 年 6 月
19. 「ヴォルテールとニュートン 試論」、『思想』649 号、岩波書店、1978 年 7 月
20. «Un texte méconnu sur l'attribution de l'*Histoire comique de Francion*»、『ガリア』18 号、1979 年 8 月
21. 「ルソー、ヴォルテールと自然」、社会思想史学会年報『社会思想史研究』3 号、1979 年 11 月
22. 「十七世紀のリベルタンとデカルト思想（上）」、『思想』671 号、1980 年 5 月
23. 「フランスにおける進歩の観念――パスカルからコンドルセまで」、徳永恂編『社会思想史―進歩とは何か』、弘文堂、1980 年 5 月
24. 「十七世紀のリベルタンとデカルト思想（中）」、『思想』672 号、1980 年 6 月
25. 「十七世紀のリベルタンとデカルト思想（下）」、『思想』673 号、1980 年 7 月
26. 「「三十部」あるいは「三十五部」限定の「悪書」について」、『一橋論叢』85 巻 3 号、一橋大学一橋学会、1981 年 3 月
27. «Rohault, Descartes et le *Fragment de Physique* de Cyrano de Bergerac（1）»、『ガリア』21-22 号、1983 年 3 月
28. «Rohault, Descartes et le *Fragment de Physique* de Cyrano de Bergerac（2）»、『ガリア』23 号、1984 年 3 月
29. 「十七世紀末、十八世紀のリベルタン地下写本について」、『流域』15 号、青山社、1985 年
30. «*Suite des Œuvres diverses de M^r de F***** de 1714 : la première édition de l'*Origine des Fables* et de deux autres discours de Fontenelle», *Études de Langue et Littérature Françaises*, n° 50、1987 年 3 月
31. «La première édition imprimée de *Du Bonheur* de Fontenelle»、『ガリア』26 号、1987 年 3 月

32. 「ニュートン・キャンペーンの旗手ヴォルテール――ニュートン『プリンキピア』出版 300 年にちなんで」、*Dialogues*、4 号、アリアンス・フランセーズ大阪、1987 年 9 月
33. «Note sur un recueil de manuscrits clandestins du dix-huitième siècle : *Préjugé démasqué*», *Études de Langue et Littérature Françaises*, n° 54、1989 年 3 月
34. «Comment interpréter les *Expériences nouvelles touchant le vide* — De l'horreur du vide à l'équilibre des liqueurs», *Pascal, Port-Royal, Orient, Occident*, Paris, Klincksieck、1991 年 2 月
35. 「パスカルの『パンセ』とリベルタン」、『思想』806 号、1991 年 8 月

翻訳

1. デカルト『気象学』、『デカルト著作集』第 1 巻、白水社、1973 年 5 月
2. フォントネル『世界の複数性についての対話』、工作舎、「プラネタリー・クラシックス」、1992 年 11 月
3. シラノ・ド・ベルジュラック『日月両世界旅行記』、岩波文庫、2005 年 1 月

書評、事典項目、その他

1. （共著）林和夫編『前置詞・接続詞』（日本フランス語学会編『フランス語学文庫 10』）、白水社、1957 年 9 月
2. 「パスカルと魔方陣」、『パスカル全集』第 2 巻、人文書院、1959 年、「月報」
3. （共編）Henri Bergson, *L'Âme et le corps*、大学書林、1968 年 1 月
4. （共編）Marcel Aymé, *Le Passe-muraille*、朝日出版社、1969 年
5. （共著）『フランス語文法』、朝日出版社、1970 年 4 月
6. （事典項目）『社会科学大事典』、鹿島出版会、1970 年：「ガッサンディ」
7. （事典項目）『フランス文学事典』、白水社、1974 年 9 月：「オネットム」「シュヴァリエ・ド・メレ」
8. （共編）「パスカル参考文献補遺」、『パスカル全集』第 2 巻、人文書院、1975 年 12 月
9. （書評）«Analyse d'ouvrages», Cyrano de Bergerac, *Œuvres complètes*, édition publiée par Jacques Prévot, *Revue d'Histoire des Sciences*, tome XXXIII, n° 2、1979 年 11 月
10. （書評）リチャード・H・ポプキン『懐疑――近世哲学の源流』、『朝日ジャーナル』vol. 23, n° 22、1981 年 5 月
11. 「記念号刊行にあたって（原亨吉教授退官記念号）」、『ガリア』21-22 号、1983 年 3 月
12. （事典項目）『科学史技術史事典』、弘文堂、1983 年 3 月：「ブレーズ・パスカル」「エチエンヌ・パスカル」「モンテーニュ」
13. （事典項目）『大百科事典』、平凡社、1984-1985 年：「ガッサンディ」「機会原因論」「ゲーリンクス」「自由思想家」「ジュリユー」「シラノ・ド・ベルジュ

ラック」「生具観念」「シャルル・ソレル」「タルマン・デ・レオー」「タンヌリ」「デカルト」「博物誌」「テオフィル・ド・ビヨー」「ビュフォン」「フュルティエール」「ピエール・ベール」「方法序説」「マルブランシュ」「メルセンヌ」「ラ・フレーシュ」

14. （事典項目）山折哲雄編『世界宗教大事典』、平凡社、1991 年 2 月：「機会原因論」「ゲーリンクス」「自由思想家」「ジュリユー」「デカルト」「ピエール・ベール」「マルブランシュ」
15. 「『ガリア』の思い出」、『ガリア』30 号、1991 年 3 月
16. 「フォントネルの仕事ぶり」、『流域』、1993 年 5 月
17. 「知識人大旅行家 フランソワ・ベルニエ」、『17・18 世紀大旅行記叢書』第 5 巻：ベルニエ『ムガル帝国誌』、岩波書店、1993 年 8 月
18. 「パスカル研究の最近の動向（1）ジャン・メナール『パスカルとロアネーズ兄妹』」、『メナール版 パスカル全集』第 1 巻、白水社、1993 年、「月報」。
19. （書評）Hisayasu Nakagawa（éd.）, *La Révolution française et la littérature*, Colloque international du bicentenaire, 1989（Presses Universitaires de Kyoto, 1992）、『日本 18 世紀学会年報』8 号、1993 年 5 月
20. （事典項目）『集英社世界文学大事典』、全 6 巻、集英社、1996-1998 年：「アルカディア」「ガッサンディ」「アレクサンドル・コイレ」「サン・テヴルモン」「リシャール・シモン」「自由思想」「書簡詩」「対話文学」「トゥー」「ガブリエル・ノーデ」「ビュフォンと『博物誌』」「風刺詩」「フォントネルと『世界の多様性についての対話』」「文芸共和国」「フランソワ・ベルニエ」「ペレスク」「マザリナード」「メズレー」「メルセンヌ」「モーペルチュイ」「妖精物語」「ラ・モット・ル・ヴァイエ」「理神論」
21. （書評）「合理と非合理のあいだ――谷川多佳子著『デカルト研究—理性の境界と周縁』」、『思想』869 号、1996 年 11 月
22. （事典項目）『岩波哲学・思想事典』、岩波書店、1998 年 3 月：「ヴォーヴナルグ」「『エセー』」「ガッサンディ」「自由思想家」「新旧論争」「モラリスト」「モリエール」「モンテーニュ」
23. 「変わるパリ、変わらないパリ」、『月刊健康』2001 年 2 月号、共同通信社
24. 「旅する哲学者フランソワ・ベルニエ」、ベルニエ『ムガル帝国史』（2）、倉田信子訳、岩波文庫、2001 年 12 月
25. （事典項目）『集英社世界文学事典』、集英社、2002 年 2 月：「アルカディア」「ガッサンディ」「アレクサンドル・コイレ」「サン・テヴルモン」「自由思想」「書簡詩」「対話文学」「ビュフォンと『博物誌』」「風刺詩」「フォントネルと『世界の多様性についての対話』」「文芸共和国」「ペレスク」「マザリナード」「メズレー」「メルセンヌ」「妖精物語」「ラ・モット・ル・ヴァイエ」「理神論」
26. 「三百年前の健康法」、『月刊健康』2002 年 5 月号、共同通信社
27. （事典項目）『岩波キリスト教辞典』、岩波書店、2002 年 6 月：「啓蒙主義」「自由検討」「自由思想」「ディドロ」「モラリスト文学」「モリエール」「モンテス

キュー」「モンテーニュ」「ルソー」
28.「原先生のいくつかのお仕事について」、『ガリア』52 号（原亨吉名誉教授追悼号）、2013 年 3 月